

日本セキュリティ・マネジメント学会
会 長 佐々木良一
大会実行委員長 吉浦 裕

日本セキュリティ・マネジメント学会第 26 回全国大会を、来る 6 月 23 日（土）に、電気通信大学において開催することとなりました。これもひとえに会員各位のご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

東日本大震災と原子力発電所の事故、地球環境問題、年金、雇用の問題に見られるように、近年、環境、社会、経済の基本的な枠組みが不安定になっています。その結果、社会問題への対処においても、個人の人生設計においても確定的な予測や計画が立てにくくなり、社会不安が高まっています。このような状況下で、情報技術は、大規模データの分析による予測と制御、ソーシャルネットワークによる高度コミュニケーションなど、不確定性と社会不安の軽減に力を発揮するものと期待されますが、一方で、重要インフラシステムへの不正侵入や個人情報の大規模漏洩のような新たな社会不安を生み出す原因にもなっています。そこで、セキュリティ・マネジメント学は、不確定性と社会不安の軽減に学術面で貢献すると共に、情報技術が新たな社会不安を生み出さないように学際・業際的な取り組みを進める必要があります。

今回の全国大会では、「高まる不確定性とセキュリティ・マネジメント」を統一テーマとしました。基調講演では、心理学の大家でいらっしゃる中谷内一也氏（同志社大学教授）をお迎えし、「安心と信頼の心理学」と題して御講演いただくことになりました。また、特別講演では、地震学の気鋭の研究者でいらっしゃる大木聖子氏（東京大学助教）をお迎えし、「社会の安全のために地震学ができること・できないこと」と題して御講演いただきます。研究発表では、自由論題枠と 9 つの研究会による分科会に加えて、英語セッションと学生セッションを設けました。近年関心が高まっているスマートフォンのセキュリティをはじめ、37 件の学際・業際的な発表を盛り込み、魅力的なプログラムを構築できたと確信しております。

このような学際的でかつ業際的な本学会のメリットを活かした有意義な大会と致したく、是非とも、関係の方々にもお声をお掛けいただき、開かれた学会に相応しく、多数の方々のご参加をお願い申し上げます。ここに謹んでご案内申し上げます。なお、本大会の最新情報は学会ホームページ(<http://www.jssm.net/>)にも掲載されますので、こちらをご覧くださいませようお願い申し上げます。

第 26 回全国大会のご案内

統一テーマ

「高まる不確定性とセキュリティ・マネジメント」

基調講演：中谷内一也 氏（同志社大学心理学部教授）

特別講演：大木 聖子 氏（東京大学地震研究所助教）

日 時 2012 年 6 月 23 日（土） 9 時 45 分～20 時 15 分
会 場 電気通信大学 講堂，西 8 号館，西 9 号館（京王線調布駅下車）
東京都調布市調布ヶ丘 1 丁目 5-1

主 催 日本セキュリティ・マネジメント学会
後 援 （社）日本内部監査協会、日本セキュリティ監査協会（JASA）
情報システムコントロール協会（ISACA）

日本セキュリティ・マネジメント学会 第26回全国大会プログラム

<統一テーマ> 「高まる不確定性とセキュリティ・マネジメント」

2012年6月23日(土)電気通信大学

午前の部 於: 講堂	
9:00~	受付開始 (講堂ロビー)
9:45~ 9:50	開催校挨拶 吉浦裕 大会実行委員長 (講堂)
9:50~ 10:00	会長挨拶 佐々木良一 会長 (講堂)
10:00~ 10:50	基調講演 中谷内一也氏(同志社大学教授) 『安心と信頼の心理学』 司会:飯塚久夫 副会長(講堂)
10:50~ 11:00	小休憩
11:00~ 11:50	特別講演 大木聖子氏(東京大学助教) 『社会の安全のために地震学ができること・できないこと』 司会:藤本正代 理事(講堂)
11:50~ 13:00	休憩(昼食) 12:00~12:50 理事会(西9号館116)

午後部 於: 西8号館, 西9号館					
13:00~ 13:50	2012年度 会員総会 西9号館135大講義室				
場所	西8号館131 大講義室 (Track A) セキュリティ法と経営 司会:湯浅壘道	西8号館132 中講義室 (Track B) 個人情報の保護 司会:力利則	西9号館115 中講義室 (Track C) 先端技術・情報犯罪 司会:萩原栄幸	西9号館135 大講義室 自由論題 司会:喜入博	西9号館102 大学院共通演習室 学生セッション 司会:大曾根匡
14:00~ 14:35	『不確定性と法的責任』 林紘一郎(情報セキュリティ 大学院大学)	『災害時の安否確認にお ける学校の個人情報管理』 星野豊(筑波大学)	『ソーシャルサービスに おけるプライバシーにつ いて』 玉井睦(セコム)	『組織の事業継続性向上 に資する情報セキュリティ マネジメント手法の提案』 頼永 忍(インターリス 総研)、原田要之助(情報 セキュリティ大学院大学)	14:00~14:25 『電子書籍に関わるPlayer間の関係 枠組み再構築の検討』 川村吏人(工学院大学) 14:25~14:50 『中国の営業秘密制度に関する考 察』 崔立(情報セキュリティ大学院大学)
14:40~ 15:15	『企業における組織・従業 者の関係と内部不正』 北野晴人(情報セキュリティ 大学院大学)	『社会への提言』その 後:画像活用型本人認証 ガイドライン策定につ いて』 電子的本人認証検 討会有志	『スマートフォンのセキュ リティ ~利用と管理の 立場から~』 竹森敬祐(KDDI研究 所)	『プロフィールサイトにお ける個人情報暴露に関 する考察』 小出篤史(筑波大学)、星 野豊(筑波大学)	14:50~15:15 『データベースの仮想化と秘匿化の 両立』 西脇雄高(電気通信大学)
15:15~ 15:25	小休憩				
	(Track D) 環境マネジメント 司会:湯田雅夫	(Track E) 関西支部 司会:竹上端一	(Track F) 危機管理 司会:岡安邦男	自由論題 司会:浅井達雄	学生セッション 司会:森本祥一
15:25~ 16:00	『組織のボランティア情 報開示の動向とCSR経 営会計情報』 大坪史治(和光大学)	『ロット分割と遺伝的アル ゴリズムを使用した生産 スケジュールの改善』 椎原正次(大阪工業大 学)	『北朝鮮準中距離弾道ミ サイル・ノドンの脅威に 対する日本の原発の対応 対策』 石山裕(オオコシセキュ リティコンサルタンツ)	『中小企業でスマートフ ォンを利用する際の活 用モデルの提案』 西村隆宏(情報セキュ リティ大学院大学)	15:25~15:50 『個人情報漏洩に関する地域特性 を考慮した統計学的考察』 文倉育(東京電機大学) 15:50~16:15 『攻撃者の知識を前提としたデー タベースからの情報漏洩の定量化』 鈴木諒子(電気通信大学)
16:05~ 16:40	『事例研究-福島第1原 発の事故の減災の可能 性』 大内功(グリーン&セー フティ鎌倉事務所)	『サプライチェーンにお けるセキュリティ・マネジ メントとシミュレーションモ デルの構築』 能勢豊一(大阪工業大 学)	『ソフトウェア産業にお けるプロパテント政策の影 響』 柳澤光保	『クラウドコンピュー ティング環境に適したセ キュリティ状態定量化手 法の開発』 甲斐賢(日立製作所)	16:15~16:40 『情報公開制度における大量請 求・営利目的請求と権利濫用性 に関する一考察』 静山直樹(情報 セキュリティ大学院大学)
16:40~ 16:50	小休憩				
	(Track G) IT統制 司会:長谷川誠志	(Track H) ITリスク学 司会:相羽律子	(Track I) コーポレート・ガバナンス 司会:小倉久宜	自由論題 司会:小川文雄	学生セッション 司会:湯浅壘道
16:50~ 17:25	『暗号化維持でのデー タ処理技術・秘匿分散計 算技術の実運用にお ける一考察』 藤田亮(中央大学)	『ITリスク学研究の状 況と今後の予定』 千葉寛之(日立製 作所)、佐々木良一(東京 電機大学)	『COSO 内部統制の現 状と今後の方向性』 寺沢晴夫(コーポレ ート・ガバナンス研究会)	『脆弱性情報に基づ く効率的なセキュリティ パッチ適用管理』 松井康宏(日本アイ・ ビー・エム)	16:50~17:15 『Android携帯を用いた証拠保全 作業支援アプリケーションの開発』 高橋渉(東京電機大学) 17:15~17:40 『クラウドを用いた農作物情報提供 システムの検討』 周木翔(工学院大学)
17:30~ 18:05	『拡大するクラウドデ バイスの統制課題』 澤田 栄浩(日本高信 システム研究所)	『社会的合意形成支援シ ステムにおける関与者向 け情報提供方式』 矢島敬士(東京電機大 学)	『成熟度モデルによる個 人情報保護の改善』 村上博(情報セキュ リティ大学院大学)	『システム監査人およ び情報セキュリティ人 材におけるキャリアデ ザインと人材育成』 花田経子(新島学園短 期大学)	
18:15~ 20:15	懇親会 (ハルモニア) 開催校歓迎挨拶 石川晴雄氏(電気通信大学情報理工学部長)				

英語セッション International (English) Sessions (West 9th building, Room #116)

Please visit web site for details: http://www.jssm.net/jssm2012_convention_eng.htm

責任者：山本明知 (Akitomo YAMAMOTO)、副責任者：岡安邦男(Kunio OKAYASU)、内田順一 (Junichi UCHIDA)

I S - 1 : 14:00 ~ 14:35

José Luis Castillo Pérez (Nagaoka Univ. of Tech.)

『Cross-Cultural Influence on Information Security Management』

I S - 2 : 14:40 ~ 15:15

Klaus-Dieter Zundorf (Self-employed)

『Observations on Safety and Security』

I S - 3 : 15:25 ~ 16:00

Nic Heras (IBM)

『Managed security Services and tales from the frontline』

I S - 4 : 16:05 ~ 16:40

Thomas Greer (PricewaterhouseCoopers Arata)

『Audits of Service Organizations: Adoption of the New JICPA J86 Standard』

I S - 5 : 16:50 ~ 17:25

Andrew Jones (Prime Communications, Inc.)

『The importance of clear communication and the sending of clear signals in the aftermath of disasters』

I S - 6 : 17:30 ~ 18:05

Round Table Talk: All presenters and the audience volunteers

『Crisis Management in Japan after the nuclear disaster』

310分(最大)の継続専門教育(CPE)受講証明書を発行します。

参加費

種類	事前/当日	大会参加費	懇親会費
会員 (正会員・賛助会員)	事前(振込)支払	4,000円	4,000円
	当日支払	5,000円	5,000円
非会員	事前(振込)支払	5,000円	4,000円
	当日支払	6,000円	5,000円
英語セッションだけ (非会員に限定)	事前(振込)支払	1,000円	4,000円
	当日支払	2,000円	5,000円

* 送金された参加費は、理由の如何を問わず返却致しませんが、大会ご欠席の場合には、後日「発表要旨」を1部お送り致します。

* 後援団体所属の参加者の費用は会員と同額とさせていただきます。

参加申込の方法

ご参加者の氏名、会員・非会員の区別、種類(英語セッションだけかどうか)、懇親会の出欠、所属機関名、連絡先御住所・電話番号、メールアドレスを、メール、FAX、または郵便で下記の事務局までご連絡ください。

メール: jssm26confp@jssm.net FAX: 03-3371-5185

郵便: 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 パラードハイム 703

日本セキュリティ・マネジメント学会 第26回国全国大会実行委員会事務局

郵便振替用紙に必要事項を記入し、6月15日(金)までにお振込みください。お振込みをもって参加申込とさせていただきます。6月16日以後は、当日支払(申込み)扱いとなりますので、お早めにお振込み下さい。

郵便振替用紙がお手許にない場合には下記口座へお振込みください。

口座番号 00160 - 1 - 262809

加入者名 日本セキュリティ・マネジメント学会

銀行振込の場合には、下記口座へお振込みください。

口座番号 三井住友銀行神田支店 普通預金 2403456

口座名 日本セキュリティ・マネジメント学会

2名以上の参加費を一括送金される場合は、必ず参加者全員のご芳名を上記にお知らせください。

Web サイト: http://www.jssm.net/jssm/jssm042_2012.pdf

